

# シアトル別院時報

42 卷3月号

2023年度 BCA 教化標語

「念仏道、行けばわかるさ  
一南無阿弥陀仏をとねえればー」



今日のご法話

“立教開宗800年慶讃法要”

輪番 楠 活也



2023年は宗祖親鸞聖人のご誕生850年の年です。また、来年2024年は、立教開宗800年の年にあたります。ご本山本願寺では、今年の3月から5月にかけて、この二つの慶讃法要が勤められます。5月の世界仏教婦人会大会へ参加するツアーでは、もちろん、この特別な法要へもお参りさせていただきます。今回は、浄土真宗の立教開宗についてご紹介させていただきます。

親鸞聖人は、1224年（元仁元年）に『教行信証』の草稿本を完成されたと伝えられています。それから、700年目にあたる、1923年（大正12年）4月15日から7日間にわたって、立教開宗700年を記念する法要が勤められました。その後、真宗各派が毎年4月15日を立教開宗記念日と定め、毎年その日に立教開宗記念法要（春の法要）が勤められています。

親鸞聖人は、20年間、仏道修行、勉学に励まれた比叡山を29歳で下山されます。その後、法然聖人のもとへ行かれ、阿弥陀仏のみ教えに出会い、お念仏の道を歩まれます。しかし、この教えは、邪教だという判決（専修念仏停止）が下され、35歳の時に、流罪となり、越後へ行くこととなります。およそ5年が経過し、親鸞聖人は、赦免されます。その後、関東へお移りになられたのが42歳の頃でした。越後、そして、関東でも法然聖人に教えていただいたお念仏の教えを人々へ伝える布教活動に従事されます。

親鸞聖人が52歳のころ、1224年にふたたび、お念仏の教えは邪教であるという勅命が下りました。9歳でお得度をされてから長い年月ご修行され、勉学に励まれた末に、あらゆる衆生が歩むことができるお念仏の道に出遭われました。自力の修業を捨て、本願念仏を信じ、念仏往生する以外に生死を超える道はない、悟りへの道はないと信じる親鸞聖人にとって、これらの念仏停止の勅命は

3月の予定

日曜法要は対面と同時配信

- 1日(水)10時 祥月法要・  
合同メモリアル 対面
  - 2日(木)1時半 日系マナー法要
  - 5日(日)10時 キャンプ・ファイア法要  
日本語法要 ビデオ
  - 8日(水)朝の法要 対面
  - 12日(日)10時 春のお彼岸法要  
子供の法要  
11時 日本語法要 ご法話 輪番楠
  - 14日(火)9時半 日本語法座 ZOOM
  - 15日(水)10時 朝の法要 対面
  - 16日(木)10時 親鸞聖人月法要
  - 16日(木)1時半 日系マナー法要
  - 19日(日)10時 日曜家族法要  
日本語法要 ビデオ
  - 21日(火)9時半 日本語法座 ZOOM
  - 22日(水)11時 メリル・ガーデン法要
  - 26日(日)10時 スカラシップ・アワード法要  
日本語法要 ビデオ
  - 28日(火)9時半 日本語法座 ZOOM
  - 29日(水)10時 朝の法要 対面
  - 30日(木)7時 別院スピーカー・シリーズ
- 月曜日・水曜日(半日) 楠輪番 休み

許されがたい脅威であったことでしょう。このお念仏の教えがどの教えにも劣らない、しっかりと、お釈迦様の教えに基づいた、そして、インド、中国の諸師の教えに通ずるものである。法然聖人が明らかにしてくださったお念仏の教えは、広く万民が歩むことができる道である。そのことをあらゆる人に、そして後に続くものにしっかりと示さなければならない。そういう強い思いで、書かれたのが『顕浄土真実教行証文類』でした。この『教行信証』がいつ頃書き始められ、いつ頃完成したのかというはっきりした年代はわかっていません。しかし、この二度の専修念仏停止の勅命が、大きな背景の一つであったことは間違いのないと思います。親鸞聖人は、高僧和讃に、このように詠まれています。

**智慧光の光より 本師源空あらわれて  
浄土真宗をひらきつつ 選択本願のべたもふ**

法然聖人は、ご自身が独立された選択本願の教法を「浄土宗」と名付け、「浄土真宗」とは名付けておられません。ですから、このご和讃で出てくる「浄土真宗」というのは、法然聖人が顕そうとされた「浄土宗の真実の宗義」という意味でしょう。親鸞聖人ご自身には法然聖人の浄土宗のほかに新しく浄土真宗をたて、立教開宗をするという意識はなかったに違いありません。しかし、『教行信証』を撰述した結果として「浄土真宗」という独自の仏教を開くという偉業を事実として成し遂げらたと考えるべきでしょう。その後、その教えの流れをくむものが、親鸞聖人を浄土真宗の宗祖として仰ぐようになりました。その教えを今、私たちが聞かせていただいているのです。

合掌

日本語のメール・アドレス。 [seattlebetsuin.nihongo@gmail.com](mailto:seattlebetsuin.nihongo@gmail.com)

### 楠輪番よりのメッセージ

お寺での日本語法話を再開いたします。11時からです。

私が法話を勤めさせていただくときは、Zoomにてライブ配信も致します。

Zoomのリンクは毎週金曜日の話し合い法座と同じものを使用します。リンクが必要な方は上記の日本語メール・アドレスまでお知らせください。

私が、日本語の法話をさせていただけるのは、月に一回くらいかと思います。その予定は、E-mailでもご案内いたしますし、お寺のニュースレターでもご確認いただけます。

私が日本語の法話をできないときは、日本語法話のビデオを本堂で流します。しばらくの間は、築地本願寺の日本語法話を流す予定です。もちろんご自宅でも築地本願寺のYouTubeチャンネルに行ってください、いつでもご視聴いただけます。

### **築地本願寺 YouTube**

[https://www.youtube.com/channel/UC1XCOdrEKT1QzJ\\_hYf5DKaQ](https://www.youtube.com/channel/UC1XCOdrEKT1QzJ_hYf5DKaQ)

ぜひ、お友達とお誘いあわせの上、お寺に足をお運びください。 合掌

- ・ 祥月法要のお名前が英語面に掲載されます。
- ・ お寺でお参りできるようになりました。マスクは必要です。安全な距離を保つようにしてください。

### **BCA の" Dial The Dharma" (テレホン法話)** というのをご存知でしょうか。

インターネットができない方でも、電話で短い日本語の法話が聞けます。(英語もあります)

英語は毎週原田総長がお話しされます。日本語は、日本語ができる開教使が順番で法話をします。

法話は毎週水曜日に新しいものに更新されます。法話は5分以内のものです。

電話番号 1-800-817-7918、その後英語であれば1を日本語であれば2を押せば聞くことができます。

### 3月のスケジュール

- 5日 日曜法要 キャンプ・ファイアー法要 当日は子供が映るので、ユーチューブ・ビデオがありません。  
12日 日曜法要の朝は夏時間となり時間早くはじまります。ご注意を。  
30日 別院スピーカー・シリーズ 7-8時 Rev. Anne Spencer (英語) アイダホ・オレゴン仏教会 (zoom)  
詳細と申し込みは別院ウェブサイトのセミナーにて案内があります。

### 4月のスケジュール

- 2日 別院花まつり法要  
16日 アースデー(地球の日)と音楽法要  
22日 アースデー・セミナー  
23日 恵信尼公・覚信尼公・顕彰法要  
28日 春の念仏セミナー(日本語)  
29日 春の念仏セミナー(英語)



ティートーク 別院ニュース

リアン・西・ウオング 別院理事長  
chairperson@seattlebetsuin.org

もうすぐ春？

私がこの記事を書いている時、強い風の音が聞こえます。天気予報では冷気と雪の予報です。あと数週間で日中の時間が長くなり、暖かくなり始め、花が咲き始めます、信難いです。

別院の春のお彼岸法要は3月12日です。この日はまた、夏時間が始まる日でもあり、1時間早く起きないといけません。それで、法要に出席へのご褒美として、法要後にプレゼントを用意します。別院婦人会のメンバーの方々がホームメイドのお土産を作ります。

お彼岸は季節の移り変わりをお祝いし、お墓にお参りし先祖の方々を偲びます。この時期に日本を訪ねるとお彼岸に関する花が咲いています。その花は彼岸花と呼ばれ、お墓の近くによく見られます。見た目には綺麗ですが、ねに毒があります。

彼岸花は人間性と同じです。私たち皆、毒性のある考えや行動を持っています。六波羅蜜でお彼岸に関したことは、それを見分け否定的な特性を乗り越え、すべての生を大事にすることを教えています。六波羅蜜、(布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧を修習)これらはお彼岸の一週間に順守されます。仏様のお教えが皆様の心に届きますように。

新しい季節はまたお寺でのイベントとプログラムへの期待も増えてきました。3年間皆様が待ち望んでおられたのでしょうか。お寺のイベントはお寺のウェブサイトの'カレンダー'をご覧ください。

キッズ・サマー・プログラムが7月31日—8月4日まで催されます。秋に一年生になる子供から8年生まで申込みれます。申込書があります。興味ある方は私のメールまでお知らせください。

阿弥陀様の知恵とご慈悲に包まれ心安らかに過ごされますように。

合掌、



## ミュージック・ノート ケミ中林

先月のスカウト・サンデー法要に「Precious Earth」の曲を演奏してくれたゲーブ・シェンに感謝します。スカウト法要と同じく今月のキャンプ・ファイア法要も子供達が映るので、お寺での法要だけになります。アミとキラが音楽を提供してくれ楽しみにしています。そして12日のジムでの子供の法要ではボーディ・アンサンブルが法要音楽をリードしてくれ、同時に本堂の法要では春のお彼岸法要がお勤めされます。

BCAの音楽コミティーのユーチューブチャンネルでは新しいビデオがアップされました。

<https://www.youtube.com/@buddhistchurchesofamericam9267>

この曲はBCAのナショナル・カンセル会議の法要で紹介されました。アレックス坂本がビデオの「We Are One」編集を担当しました。ドーナ佐々木が曲を作り、ピアノ演奏をしました。ボーカルはBCAの8地区から参加。シアトル別院からの参加はアイリーン真野、ポール森、デニス山下。ジョー・ゴチの撮影写真も含まれていました。「恩徳讃 II」は4つのパートのハーモニーでピアノはイレイン・ジョーンズ、サン・ディエゴ。ボーカルは西北部を代表してポール、デニスと竹村朴美でした。

今月末にBCA盆踊り・太鼓コミティーのウェブナー「What is Obon?」があります。BCA仏教教育センターと共催です。3月25日の朝です。詳細は後ほど。



BCA Music Committee

**GATHA LYRIC WRITING CONTEST**

In commemoration of the  
125th Anniversary of Buddhist Churches of America®  
the BCA Music Committee & the  
Federation of Dharma School Teachers' League  
are sponsoring a *Gatha lyric-writing contest*.

- Two categories: youth & adult
- Cash prizes for winning entries
- Deadline for entries is June 4, 2023

For details  
<https://www.buddhistchurchesofamerica.org/music>

今年は浄土真宗がアメリカで設立されて125周年。その記念に仏教讃歌の歌詞のコンテストがあります。青少年と大人のカテゴリーがあり、賞金あり。締め切りは6月4日。

詳細はウェブサイト [buddhistchurchesofamerica.org/music](http://buddhistchurchesofamerica.org/music) にあります。

## ボーイ・スカウト

2月5日のスカウト・サンデー法要が2年ぶりにありました。またツループ252のメンバーがオリンピアでの「the Day of Remembrance ceremony」に出席、プレッジをリードしました。3月5-26日までフード・ドライブを催します。



リース T. (司会) アレクサンダー B. (オリンピア) アレックス S. ジェソン Y. アービン N.  
輪番楠、後藤師 (左)



## 別院維持会会費

別院維持会費はお寺の維持・運営の経費になります。また運営とプログラム（オンラインのライブ配信、バーチャル法要、レクチャー費用、メディテーション費用、ブック・勉強会費用など）の経費になります。70歳以下は最低400ドル、70歳以上は350ドルです。会費をお納めになられた方々のお名前が英語面にあります。

## 婦人会便り

鹿島加奈子

シアトル別院婦人会共同会長

### 別院婦人会の活動基本方針 (ミッション・ステートメント)

浄土真宗に基づく仏教徒としての認識を高め、会員の親交を促進すること：シアトル別院を支え、支援し、地域社会に貢献する：



2月も婦人会は活発な活動がありました。

火曜日のピククル・ボールはお寺のジムで9時半から12時までです。皆さん楽しんでおられます。参加ご希望の方はジムに来てください。別院メンバーに限ります。

婦人会では2月12日に九条武子夫人・大谷籌子お裏方 追悼法要を行いました。コーエ梅津師がゲスト・スピーカーでしたがご法話は皆様に大変喜ばれました。また梅津先生は法要の後、本堂でのサンガとのダーマ・エクスチェンジでもリードされました。



また同日、婦人会の総会・慰労会が開かれ、メンバーの方々へ日頃のご支援に感謝しました。



婦人会ではダーナ・デー（布施の日）を2月12日に行いました。欲から離れ、布施の行をする特別な日は毎年2月の第2日曜日に行うと、1965年の世界仏教婦人会大会にて決議されました。



婦人会はまた別院の新年会のコミティー支援のため、バラ寿司、きんぴらごぼう、黒豆、キャベツの漬物を2月26日の新年会のために用意しました。川原律子、藤井藹子、中野順子、中西清子、竹田スージー各夫人が漬物、馬場ジャネット、ナイナ富田・加藤、各夫人がバラ寿司のご飯を炊いてくださいました。



写真はティーナ・頭本コー

